

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第096号(通算)

令和5年3月24日(金)発行

3月24日、例年より一日早く三学期の終業式を迎えます。本日で、令和4年度の登校日が終わります。皆さんにとって、今年度はどんなことがありましたか？ どんなこと挑戦しましたか？ 来年度は、どういう風に過ごしたいですか？ この春休み期間中に、鋭気を養い、今からできることにチャレンジしましょう。

さて、この校長通信「神戈陵を渡る風2」も、今年度の最終号となりました。昨年度は校長通信を48号まで発行できました。今年度も通算96号なので、ちょうど同じ号数だけ発行できました。ありがとうございました。

終業式式辞より

令和5年3月24日

西郷さんの言葉を抜粋して紹介します。

敬天愛人

西郷さんが言われた『天を敬い、人を愛せ』、つまり 敬天愛人 という言葉を知っていますか？西郷さんは「よく『道』を行うというが、この『道』を行うことの究極の目的は、天を敬うことだ。天は、公平で、自分も他人と同じように愛している。自分を愛する気持ちで、他人も愛しているのだ。そのことをよくわきまえるべきだろう」と語られたそうです。

この考え方は、西郷さんが二度目の遠島で、沖永良部島に流され、苦勞していたところにたどり着いたものだそうです。私も、沖永良部島に3年間勤務していたことがあります。島には、西郷さんにまつわる史跡があちこちにあり、日が暮れて夜のとぼりから、満天にきらめきだすたくさんの星々を見られる夜空は、今でも忘れることが出来ません。孤島で夜な夜な、おびたしい数の星を仰ぎながら、彼はこんな考えに到達したのかもしれない。

西郷さんの言うようなことはよくあります。西郷さんは、いまでいえば地方事務所の一書記から、政府最高のポストにまでのし上がった人です。その過程では、あるいは、「俺は、柄にないポストに就かされたのではないか？」「能力を超えた椅子に座らされたのではないか？」と思ったこともあつただろう。謙虚な彼のことだから、何度もそんな思いをしたに違いありません。しかし、西郷さんはみごとに成し遂げました。後ろを振り返ってみれば、おぼつかないながらもそういうポストの責務をきちんと果たしました。しかし、だからといって驕るわけではありませ

ん。そうではなくて、「人間は、自分の能力を超えるような状況に遭遇しても、人事を尽くせば、必ず天が味方してくれる」という考えを貫いた人でした。

維新三傑の一人であり、わが鹿児島島の偉人である西郷隆盛は、不思議な人でした。維新の戦いをした人という視点からみると、残忍で怖い人という評価もあります。でも、普段の人々とふれあう姿や、残された言葉や一緒に過ごした人の逸話からみると、とても魅力的な人です。西郷さんの言葉から、自分の生き方を学びたいものです。

上手なタブレット学習に向けて

タブレット端末は便利なツールであると同時に、**功罪両面のあるツール**です。色々な事ができるからこそ、その可能性は無限大ですが、反面、使い方によっては人を傷つけてしまったり、犯罪に巻き込まれ、自ら犯罪に手を染めてしまう可能性もあります。しかし、色々なものが便利になっていく世の中において、「**危険な部分があるから使わせない**」ということでは、生きて行けません。小学生まで危険だからといって、ハサミやカッターなどを使わせななかつたり包丁を使わせないでいると、極端な例として料理(自炊)が出来ないということもあります。高校卒業後に、自宅を離れて一人で生活をする生徒にとって、自活に必要なスキルは適切な時期にきちんと身に付けてさせておきたいです。一方、PISA(国際学力調査)の結果を見ると、その活用状況の国際比較では、日本の学生は「**ICTをゲームやYouTubeなどで使用する率は多いが、学習で用いるケースが少ない**」とのデータも出ております。楽しいことに、のめり込むのは、高校生でも致し方のないことですが、だからこそ、「正しい使い方」をいかに

身に着けるか、「色々な事ができるけど、やっ
はいけない事もある」ということを当たり前
に考え行動できるか、それが一番大事です。大人
がYouTubeにとんでもない画像をあげてしま
ったり、最近でも、若者がスシロー店舗での
迷惑行為の動画をSNSにのせてしまった事件
が騒がれています。これらはタブレット学習とい
うより、インターネットを使用する上での重大な
課題となっています。学校だけでなく、家庭、社
会のあらゆる場面で、インターネットのモラルを
教える必要があります。「危険だから、危ない
から使わせない」というより、「使いながら」共
に「正しい使い方を考えていく」ことが大切で
す。GIGAスクール構想では、単にICTを活用
できる操作方法を覚えるだけでなく、学校と家
庭が連携して、将来に向けた「正しい使い方」
を学んでいくことが重要になっています。

メリットとデメリット 保護者の目線

メリット・効果

- ①動画や音声で学習できる。
- ②ゲーム感覚で楽しみながら学習できる。
- ③わからないことはインターネットを使って、その場で調べることができる。
- ④どこでも学習できるので、学校を欠席したときも授業を受けられる。
- ⑤保護者のスマホと連携できれば、学習の進捗などがわかる。

デメリット・弊害

- ①勉強に関係ないアプリで遊んでしまう。
- ②熟考しないので、深い理解ができない。
- ③学習内容が記憶に残りにくい。
- ④書いて覚えることが少ない。
- ⑤視力や健康への悪影響がある。
- ⑥充電忘れ、バッテリー切れや故障で学習できなくなる。

生徒の目線

メリット・効果

- ①授業の幅が広がる。
- ②学習へのモチベーションが高まる。
- ③主体的になる。

デメリット・弊害

- ①集中力がもたなくなる可能性がある。
- ②紙に書くことが少なくなる。
- ③目が悪くなる。

ICT活用教育(タブレット等を利用)では、紙媒

体で読んでわからなかったことが、動画で見るとわかる(理解できる)ことがあります。立方体や天体の動きなどは、動画で学んだ方が理解しやすそうです。また、タブレット学習の教材によっては、ゲームをクリアするように学習を進めることができるので、勉強嫌いの生徒でも飽きずに学習を続けられる反面、ゲーム感覚で操作していると、深く考えることなく回答を選んでしまい、深く理解したり、知識を定着させることなく、学習を進めてしまうことも懸念されます。

次から次へと多くの情報を得ることができるタブレット端末を使用することで、集中力が低下してしまう生徒もいるかもしれません。たしかに、大人もパソコンで仕事をしている時、関係のないネット検索やメールチェックをして仕事に集中できなくなることがあります。また、板書をノートに書く必要がなくなり文字を書く機会が減少してしまうと、長期的には何らかの影響が出てくる可能性もあります。更に、長時間端末を見続けることによるドライアイや視力の低下も懸念事項とされます。



タブレット学習と紙に書くことを使い分ける

タブレット学習には思った以上にデメリットもあります。しかし、デジタル化が様々な課題を解決することも間違いではありません。「スマホ脳」の著者は、「人間がテクノロジーに順応するのではなく、テクノロジーが私たちに順応すべきなのだ」と語っています。

今後、タブレット学習のメリット・デメリットを学校(教師)・生徒・保護者が理解して、実際に使用する生徒は「タブレット学習(新)」と「紙による学習(旧)」を上手く使い分けることが重要となります。教育現場のICT化の流れは今後とどまることはなく、ますます加速して行きます。ただ、ICT教育だから無条件によいというわけではないことを我々は十分に理解しています。「正しい使い方」を身に付けさせるというビジョンを持って進めていきます。